

平成29年度 町政懇談会開催報告①



昨年11月20日から12月4日までの5日間、例年になく寒い日が続く中、町内12か所で開催された町政懇談会を開催したところ、多くの町民の方にご参加いただきました。どうもありがとうございました。広報にいかっぷでは、この町政懇談会で鳴海町長からどのような話があったか、どのような意見交換がなされたかをご紹介します。

まず、2月号では、町長から説明があった町政の進捗状況と、特に質問や意見が多かった「国保診療所の有床化」と「光回線の整備」について、各会場での質疑と回答をまとめてご紹介します。

町政の推進状況について（要旨）

①『国保診療所の有床化と 町民の健康増進について』

診療所の病床復活には、スタッフの確保、経費の増加による町財政への負担が予想されるが、町民の不安解消のための必要な投資であり、ある程度、止むを得ないと考えている。また、少しでも負担が軽減できるような経営改善も図っていく。

併設する特別養護老人ホームの建て替えについても並行し取り進めたい。

健康増進対策は、疾病の早期発見・早期治療により、医療費の抑制に繋げるため、各種検診料の見直しや無料化を行い、検診受診率の向上を図りたい。

まず、今年度は、インフルエンザ予防接種の助成額を増額したい。

②『生鮮食料品などの買い物対策』

農協ストアの廃止により生鮮食品の取り扱い店舗がなくなり、高齢者を中心に困惑している。

町民が自ら見て選び、買う事のできる施設整備を早急に構築すべきと考えているが、民間による出店の話もあり推移を見守り検討していきたい。

③『防災対策』

災害対策は、適切な予算配分こそ被害を最小限に抑える有効な手段と考える。

新冠川浄水場池先における計画水位満潮時の台風・高波と降雨量の独自調査を行い、高規格道路も視野に入れ、河川管理者に対し嵩上げ改修の推進を図るよ

う積極的に働きかけを行っていく。

新冠川、厚別川のさらなる対策について、道と協議を行い、町議会とも相談しながら対策を取り進めていく。

④『学校教育及び子育て施策の充実』

朝日小の複式学級解消のため、今年度より町独自に教職員を確保している。来年度以降、さらに複式学級が増える見込みだが、単式学級維持のため町で教職員を採用することとしたい。

子育て施策の充実について、児童生徒の健やかな成長の後押しと、子育て世帯の経済的負担軽減のため「給食費の無料化」「高校生の通学費などの支援」「誕生日の贈呈」「出産時緊急ハイヤー助成」などに取り組んでいく。

⑤『第一次産業の振興について』

当町は農業を中心とした第一次産業の町であることから、今後も団体などと連携し農業振興対策の充実を図っていく。

基幹作物のピーマンは、一大産地に成長していることから、ハウスの自動換気設備などの補助も拡充させていく。

また、担い手育成、若手後継者の経営改善の支援策なども進めていきたい。



⑥『市街地計画と環境整備』

日高道を意識した宅地・道路整備計画、海岸線国土崩壊による海中汚染の漁業被害解消対策の推進など町民にわかりやすく説明し、計画を進めたい。

ホロシリ乗馬クラブは、日高道のルート上にあることから、新冠温泉周辺への移転を計画している。

J・R日高線の不通に伴い海岸線が本格復旧がされずにいる。J・R・国に対し繰り返し要望を続けていく。

道の駅は、厚賀インター開通により利用客の増加が見込まれる。早急に改修のたき台を作り、協議を進めたい。

⑦『通信格差の解消について』

情報通信インフラ整備などは、優先順位も考え適正な事業の検討を行う。

特に、町内に数か所ある携帯電話の不感地域の解消に向け要望を続ける。

また、光回線の整備も必要不可欠であり、できるだけ早い時期に整備ができるよう鋭意取り組んでいく。

⑧『開かれた行政の実現について』

町民との対話を大切にし、向こう5年・10年間のまちづくり、まちおこし事業のための町民組織の設置を検討するとともに、情報を公開するため、この町政懇談会を実施し、今、取り組んでいる政策や、今後取り組む政策の経過、現状の情報を公開し、町民の皆さんから生の声をお聞きしたいと考えています。

光回線の整備に関すること

質問 光回線の整備について、以前意向調査をしたがその結果は？

回答 これまでN・T・Tと町で2回意向調査をしたが、N・T・Tの時は345件で、町が実施した時は263件の利用希望があった。

質問 光回線ブロードバンドと無線ブロードバンドの話がでていますが、それぞれどのように考えているのか。

回答 無線ブロードバンドも検討しているが、現在は、有線によるブロードバンドの整備を優先的に考えている。

質問 光回線整備に係る方向性と今後の見込みについて教えてください。

回答 情報インフラの格差是正については、町の優先課題の一つとして事業を進めていきたいと考えている。

光回線の整備は、これまで、平成25年と28年に、国に事業申請をしてきたが2回とも採択には至らなかった経緯がある。

現在は、事業計画の内容を少し変えて、携帯電話の不感地域の解消を目的に光回線の整備を進めたいということとで事業申請したいと考えている。

光回線の整備事業に係る費用は、総額9億円にのぼるという試算がでており、町で全額負担することは難しく、また、国の補助を受けたとしても2～3年の期間を要すると考える。

国保診療所に関すること

質問 有床化ということとは、365日、24時間体制で医師が勤務し、診療するということか。

回答 夜間も含め24時間体制としたい。

意見 無床化にする時、医師や看護師の確保、人件費の問題などについて議会などで議論が交わされた。

医療連携も進む中、以前の状態に戻すことは難しいのではないかと。

回答 無床化となった後、町民から「町の専門病院を受診したが、その後戻る病院が無く受け入れてもらえなかった」「一時的に入院したがすぐに転院を迫られた」「老人ホームでは17時以降患者の状態を判断できる人が不在で、看護師と救急隊員に大きな負担がかかる」といった声を多数聞いた。

また、新しい病院を受診することで再検査が必要になり、患者に負担を強いる状況があることを知った。

このことから、これら全てを勘案し、再度、有床化とする方針を出した。

質問 実際、有床化に戻すと年間どのくらいの負担があると考えられるのか。病院が町民を苦しめることはないのか。

回答 診療所の赤字補てんは、町の一般会計から繰り出しますが、有床化の時は1年間で1億7～8千万円、一番多い時で2億円負担していた。無床化となり入院病床が無い現在は、1億3千万円の運営経費のほ

また、光回線整備に対する国の補助制度の予算規模が少ないという問題も抱えているのが現状である。

いずれにしても町としては、国の補助を受けられるよう、継続した取り組みを進めていく。

※なお、光回線の整備については、事業推進を希望するご意見が多数ありましたので、主なものを紹介します。

意見 都市部の就職説明会に参加したが、光回線が無いということだけで、学生の選択肢から抜け落ちてしまう。雇用の面からも整備をして欲しい。

意見 山間部の高齢者と同様、自分も10年前は光回線は不要だと考えていたが、若い世代は必須だと考えている。今は、馬を買うのもネットオークションで、光回線がなければ最後に競り負けることがあると聞いている。若手の後継者のためにも、光回線の整備をお願いしたい。

意見 買い物も含め、市街地から離れた生活環境の条件が悪くなるが、これを解消するには通信環境の整備しかない。山間部ほどブロードバンドの環境が必要であると考えている。

